

# 令和5年度福岡県農林水産公共事業評価委員会議事要旨

令和5年8月4日（金）  
千代合同庁舎3階C301B会議室

## 評価委員

西委員、西村委員、平松委員、溝上委員  
（50音順）

議案 検討事項：林道事業 豊前坊線

## 検討事項

・林道事業 豊前坊線

（委員）

用地の承諾が困難になった理由は。

（事務局）

実施個所の国土調査が完了しておらず、調査の結果、新たな地権者が判明したため。

（委員）

間伐のほかに主伐・皆伐も実施されているようだが、主伐の計画及び実績の数量は。  
また、間伐の計画はいつ、どのように計画されているのか。そしてその間伐は、林道事業の計画の中で行われているのか。

（事務局）

主伐実績（令和4年度までの実績）が60ha、令和8年度までに86ha実施する予定なので、今後の計画が26haとなる。全体計画時（平成20年度の事業開始時の計画）に間伐・主伐の数値を決めている。主伐・間伐は森林整備の計画として行われている。

（委員）

希少生物のモニタリングは毎年行っているのか。  
また、希少生物の高利用区域での工事における対策は。

（事務局）

モニタリングは毎年行っている。高利用区域で工事を実施する場合は、モニタリング調査を実施しながら、伐採や工事の時期を調整している。

（委員）

そのことにより工事の遅れはないのか。

(事務局)

現時点ではそのような影響はない。

(委員)

希少生物のモニタリングに関して、定量的なデータは公表できるのか。

(事務局)

環境省のガイドラインにより、生息している場所は公表できない。  
生息している場所が特定されないものであれば、調査のデータは公表できる。

(委員)

今年度の豪雨災害による事業への影響は。

(事務局)

豊前坊線も法面が崩れるなど被災しているが、工事に対する影響は低いと思われ、現段階では予定通り令和8年度に完了する予定。

(委員)

崩壊区間がたくさん出ていて、工事する区間にアクセスできないことはないのか。

(事務局)

道へ流れ込んだ土砂の撤去には時間はかかると思われるが、道そのものは崩壊していないため、それほど遅れは生じないと考えている。実際に復旧工事を開始して状況が変わるかも知れないが、現段階ではそこまで影響がないという判断をしている。

(委員)

災害の復旧費は全体計画事業費に含まれるのか。

(事務局)

別事業である災害復旧事業での対応となるため、この地区の全体計画事業費には含まれない。

(委員)

復旧した後も間接的に新たな費用は発生しないのか。

(事務局)

発生しないと考えている。

(委員)

費用対効果の便益について、係数はどのように決まっているのか。

(事務局)

主に林野庁が毎年制定している、諸係数により決まっている。

(委員)

流出係数、貯留率、浸食土砂量などの係数はどのような指標が算出されたのか。

(事務局)

事業評価マニュアルに示されている。

(委員)

林道の維持管理はどこが行うのか。

(事務局)

林道開設後は町に引き渡しており、町が維持管理を行う。

#### まとめ

林道豊前坊線に関して、農林水産公共事業評価委員会の意見としては、「継続」ということにします。(異議なし)